

学習案内（シラバス）の活用方法

さいたま市立東浦和中学校

学校生活の中心は「授業」です。そして授業は、学習の「基本」です。基本である授業を大切にするために、そして1年間の授業の見通しをもつために、このシラバスをご家庭で活用してください。

1. シラバスとは何か

シラバスとは、学期ごとや年間を通して、授業の目標や学習する内容、評価・評定の方法などをまとめた冊子です。

学力は、基礎・基本という土台の上に応用力を積み重ねていくものです。このシラバスで、「今、何を学んでいるのか」、「今、学んでいることで、どんな力がつくのか」などを確認し、土台作り、積み重ねの足がかりにしてください。

2. シラバスの具体的な内容

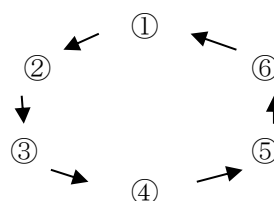
各教科の特性に応じて、およそ次のような項目が記載されています。

- 教科の目標、身につけてほしい力
- 授業の進め方、心構えや授業の約束
- 学習内容、年間計画
- 評価の観点や評定の方法 など

3. 自己理解・管理能力を高め、課題対応能力を養う

- 学習する際に「RG-PDCA サイクル」を大切にしましょう。
- ① 自身の習熟度を把握する。（research）
- ② 学習目標を立てる。（goal）
- ③ 学習計画を立てる。（plan）
- ④ 学習に取り組む。（do）
- ⑤ 学習の状況を振り返り、評価する。（check）
- ⑥ 学習の改善を図る。（action）

①から⑥を繰り返すことが大切です。



各教科の観点別評価及び評定について

(1) 観点別学習状況の評価

「目標に準拠した評価」です。各教科が設定した目標に達しているかどうかで評価します。

「十分に満足できると判断されるもの」…A

「おおむね満足できると判断されるもの」…B

「努力を要すると判断されるもの」…C

というように評価します。

(2) 評定

学習指導要領に示す目標に照らして、その実現状況を総括的に評価するものです。各教科とも3つの観点別学習状況の評価を総括して評定がつけられます。

「十分満足できると判断されるもののうち、特に程度の高いもの」…5

「十分満足できると判断されるもの」…4

「おおむね満足できると判断されるもの」…3

「努力を要すると判断されるもの」…2

「一層努力を要すると判断されるもの」…1

というように評定します。

観点別学習状況の評価の観点ごとの総括は、以下の方法によります。

観点別学習状況の評価を、Aを3点、Bを2点、Cを1点として換算し、点数化します。

(例)	AAA→9点	AAB→8点	ABB→7点
	BBB→6点	ABC→6点	BBC→5点
	BCC→4点	CCC→3点	

そして、3つの観点の合計から以下のように評定します。

観点別学習状況の評価結果の合計	評 定
9点	5
8～7点	4
7～5点	3
4点	2
3点	2または1

※このように、評定は観点別学習状況の評価を総括しているので、クラスや学年内で各評定の人数が決まっていることはありません。

<観点別学習状況の評価及び評定>

観 点			点数	評定
A	A	A	9	5
A	A	B	8	4
A	B	B	7	3
A	A	C	7	3
A	B	C	6	3
B	B	B	6	3
B	B	C	5	3
B	C	C	4	2
C	C	C	3	2 or 1